会議議事録(要旨)

1 会議名	令和6年度 第1回 長岡市地域公共交通協議会		
2 開催日時	令和6年6月26日(水曜日)午前10時30分~正午		
3 開催場所	フェニックス大手イースト まちなかキャンパス5階 交流ルーム		
4 出席者名	水島会長、佐野副会長、大関委員、中山委員、橋本委員、小川委員、神田委員、太刀川委員、寒河江委員(代理:齋藤様)、山本委員、塩原委員、大平委員、横澤委員 【欠席】水口委員、小林委員、新倉委員		
5 議決事項	(1) 令和5年度事業報告及び令和5年度歳入歳出決算報告(2) 地域公共交通計画認定申請書(3) 長岡市地域公共交通計画の変更		
6 協議事項	(1) 地域内生活交通の利用状況 (2) 店舗を活用したバス待合スペースの検討 (3) 令和6年度事業内容		
7 協議結果 の概要	・議決事項(1)~(3)について承認された。		
8 審議の内容			
【その他】	委員の交代について		
事務局 【議決事項】	 ・東日本旅客鉄道株式会社の吉田委員が大関委員と交代。 ・長岡市土木部の松木委員が太刀川委員と交代。 ・新潟県警察本部の中川委員が寒河江委員と交代。 ・国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局の山田委員が塩原委員と交代。 ・新潟県長岡地域振興局企画振興部の髙木委員が大平委員と交代。 (1) 令和5年度事業報告及び令和5年度歳入歳出決算報告 		
事務局	資料に基づき、議決事項(1)を説明。		
委員	・会計監査を行い、歳入・歳出に関する帳簿並びに書類等は、いずれも適正に処理されていたことを確認した。 (以下、質疑応答)		
副会長	・350 万円が残った理由は。		
事務局	・主に新型コロナウイルスワクチン接種の際のタクシー券補助に 関するもので、当初予算の歳入で9,640,000円を予定していた。 しかし、事業費に当たる歳出が6,606,110円であり、執行が7割		

程度となったことで 3,000,000 円強の余分が生じた。 ほか、事務費等の残額を合わせた金額となっている。 会長 ・議決事項(1)を承認してよいか。 (承認された) 【議決事項】 (2) 地域公共交通計画認定申請書 事務局 資料に基づき、議決事項(2)を説明。 (以下、質疑応答) 副会長 ・新型コロナウイルスによる幹線の緩和条件によって補助金が下 りているが緩和条件が無くなった場合、補助金が下りなくなるた め、全体のテコ入れとともに、ボーダーラインの路線について特 にテコ入れすることが必要だと思うがどう考えているのか。 ・バス路線の場合、過去3年間の実績を算定に入れているため、令 事務局 和2年や令和3年の補助額よりも令和6年や令和7年がピーク となっている。副会長がおっしゃった通り、利用者数が減少して いるなかで国庫補助の要件を満たさない路線が出てくることが 考えられるため、バス事業者を中心に全体の契約等も協議してい きたいと考えている。 ・副会長からご指摘があった通り、緩和措置終了後、補助要件を満 委員 たさない路線が出てくると考えられ、当社としては路線を維持し ていきたいと考えている。しかし、欠損が生じた場合はご支援を いただかないと長く続かない可能性もあるため、国庫補助や県単 補助、市単補助等でご支援いただければと思う。 •7ページに路線バスと高速バスを組み合わせた運賃サービスとあ 委員 る。高速バスを利用して新潟市内を訪れた際に新潟市内の路線バ スまで含まれるのか、具体的にお聞きしたい。 ・路線バスと高速バスを組み合わせた運賃サービスについて、昨年 委員 や一昨年において、高速バス及び路線バスの利用促進を兼ねた企 画乗車券を作った。本年度も計画しており、この場で発表するこ とはできないが、できしだい情報を発信し、ご利用いただければ

と思う。

会長	・議決事項(2)を承認してよいか。
	(承認された)
【議決事項】	(3) 長岡市地域公共交通計画の変更
事務局	資料に基づき、議決事項(3)を説明。 (質疑応答なし)
会長	・議決事項(3)を承認してよいか。
	(承認された)
【協議事項】	(1) 地域内生活交通の利用状況
事務局	資料に基づき、協議事項(1)を説明。 (以下、質疑応答)
副会長	・法末線の利用者数が 12 人と少ないが、どのあたりで次のアクションを起こそうと考えているのか。
事務局	・法末線は人口も少なく、高齢化率も高いところであり、介護がなければ外出できない人もいると聞いている。どのあたりでアクションを起こすかについて、12人しか利用していないことを理由にすぐ運行を取りやめるのは公共交通としてはどうかと考えている。そのため、支所とNPO法人と意見交換をするとともに、住民の意見も聞きながら今後について考えていきたいと思う。
副会長	ただやめるだけではなくて、同じお金を使うのであればもう少し 高いサービスレベルで提供するなど考えていただきたい。
事務局	・コミュニティバスを運行する 3 地域は右肩下がりが止まらない 状況であり、次の新たな運行形態など大幅なテコ入れが必要な状 況であると考えている。小国地域の法末線、八王子線については デマンド型乗合タクシーとしてタクシー事業者に運行してもら っているが、待機料金はかかっておらず、予約が入らないとお金 がかからない仕組みとなっており、事業者に甘えている部分があ る。その点については危惧している。

委員

・59 ページの種苧原線や小松倉線、63 ページの西谷線で増加しているとあったが、どういったことが要因で増加しているのか、どういったことで高齢者の外出が増加したのかなど深堀りしていただき、他路線においても利用促進に努めていただきたいと思う。

事務局

・おっしゃるとおり、増加した要因について細かく分析し、他路線 にもつなげていきたいと考えている。

会長

・63 ページに広報活動等による利用促進策を検討していくとある が、現在行っている広報活動はなにか。

事務局

・栃尾地域における広報活動として、支所地域で月 1~2 回全戸配布する支所だよりを活用したり、本格運行時にチラシを全戸配布するなどした。ただ実施するだけではなく、継続的に周知していかなければ利用者の増加にはつながらないと考えているため、支所と相談しながら然るべきタイミングで広報活動を行っていきたいと考えている。

【協議事項】

(2) 店舗を活用したバス待合スペースの検討

事務局

資料に基づき、協議事項(2)を説明。 (以下、質疑応答)

副会長

・岐阜市の例でオペレーションコストはバス会社が負担するとあったが、どのようなものがあるのか。

事務局

・岐阜市は、店舗内に設置している案内モニターのランニングコストはバス会社の負担としている。長岡市においては「ながおかバスi」があるため、デジタルサイネージではなく QR コードを設置し、スマートフォンで接続していただくような使い方もできることから、大きくコストがかかるものではないと考えている。

副会長

バス停を移動させる予定はないのか。

事務局

・その予定はないが、バス停から 100m 以内で賛同いただける店舗 を募る予定としており、交渉を進めていきたいと考えている。バス停を移動させることについては地域住民からの要望もあるため、慎重に行う必要がある。 ・岐阜市に確認をしたが、バス停を移動する際にいくつか例があり、1つは既存バス停間に1箇所新たにバス停を設けなければならないときに、コンビニに依頼したケースや横断歩道周辺等の危険なバス停を対象にバス事業者と協議しながら対応を検討するケースがあるとのこと。

副会長

・往復ともに対応できるよう、横断歩道も整備できるとよいと思う。

委員

- ・コンビニの活用については素晴らしい取組であると感じている。
- ・雨天時等、店舗内が濡れるなど店舗側への影響等を整理する必要があると思う。

会長

・いただいた意見を参考にしながら事務局で進めていただきたい。

【協議事項】

(3) 令和6年度事業内容

事務局

資料に基づき、議決事項(1)を説明。 (質疑応答なし)

【その他】

令和5年度 新型コロナワクチン接種高齢者移動支援事業の実績「くるりん」キャッシュレス決済実証 (以下、補足説明、全体意見)

委員

- ・キャッシュレス決済については、利用割合の増加が確認できてい る。
- ・来月の勉強会においてキャッシュレス決済について勉強させて いただきたいと思うとともに、前向きに導入を検討したいと考え ている。

委員

- ・ワクチン接種移動支援事業については、65 歳以上の高齢者を対象という形で他の市町村より手厚く支援していただき感謝申し上げる。
- ・新型コロナウイルスの影響で、タクシー事業者の体力が低下している中、どういったことがきめ細かくできるかが今後の課題である。
- ・バスに乗りたくても乗れない人、タクシーに乗りたくても乗れない人といった方々が今後急速に増加することが心配される。タクシーは1人で乗ると高いため、皆さんで乗れば安い割り勘タクシ

- ーが必要ではないかと思う。それは川口地域等のように地域 NPO に頼りながら継続的に運行してもらわなければならないため、赤字で困らないような補助金制度等のバックアップが必要ではないかと考えている。また、自分の地域は自分で守るという考え方を持った人々を増やしていかなければ厳しいと感じている。
- ・旧長岡市内にはタクシー車両が270台あり、コロナ前と比較して売り上げは8割から9割くらいまで回復してきている。その中でドライバー不足という状況でライドシェアが解禁となったが、道路運送法78号の2号や3号という括りの中で、タクシー事業者のない空白地域である与板・三島地域で長岡版ライドシェアを導入し、迷惑をかけないような事業を検討し、実践していきたい。

会長

- ・委員がおっしゃったように、自分たちの地域は自分たちで守るという中で、NPO 法人に頑張っていただいているところであるが、やはり人や予算・お金の問題も大きいと考えられるため、行政としても、さまざまな方法で可能な限り協力していきたいと考えている。
- ・ライドシェアについて、長岡市においても導入を検討していただけるとのことで感謝申し上げる。引き続きご協力をお願いしたい。

副会長

・先ほど委員がタクシーは割り勘すれば安くなるとおっしゃっていたが、3人を1台で運べばドライバー数も減らせる点も大きいと考えられる。人口が少ないため、なにもしなければ相乗りは難しいかもしれない。しかし、需要を集約する工夫等を行うことで必要なドライバー数も減らせると考えられるため、ご検討いただきたい。

委員

・キャッシュレス決済について、5%以上アップしたとあるが、 Suica 等の全国交通系 IC カードの使用が増加したためなのか。

委員

その通りである。

委員

・買い物難民というキーワードが先ほどあったが、最近は「とくし丸」をはじめとする移動販売車が広がっており、市内中心部でも見かけることがある。買い物難民は中心部でも広がっているように感じている。

会長

・買い物の視点では需要があれば「とくし丸」といったような対策

	もあると思う。通院の視点ではオンライン診療というものである。 ものの、公共交通とは切っても切れない関係性にあると考えるため、交通事業者の方々には引き続きご協力いただきた	えられ
委員	・高齢者の外出を促せるような仕掛けも必要ではないかと原 いる。	感じて
副会長	・とある地域公共交通会議ではペーパーレスを推奨している ろもあるが、長岡市の取り組み方針はどうなのか。	るとこ
会長	・工夫して紙ベースのものを減らす取組も考えられるため、 せていただきたい。	検討さ
【その他】	今後のスケジュールについて	
事務局	・第2回協議会は来年2月を予定している。	
	Į)	以上)

■協議会の様子





